



エコサイクル

代表取締役 社長

シュリハリチャンドラガトギ

Shrihari Chandraghatgi

1971年インド生まれ。97年インドにて農業微生物学部博士課程修了し、千葉大学へ文部省フェロー研究生として来日。2000年エコサイクルへ。06年に代表取締役社長に就任。中部各県で営業経験があり、愛知県のグルメでは「赤味噌」がお気に入り。

ものづくりを支えるために

持続可能な土壌汚染対策に取り組む

期待を超える「原位置浄化」

製造業の課題の1つに有害物質による土壌や地下水の汚染があり、法や条例の遵守が求められます。汚染の調査から対策、行政対応や不動産出口戦略支援までワンストップで手掛けるのが私たちエコサイクルです。これまでに国内外で約1000件の実績があります。

汚染対策は土を掘削して除去する方法がまだ主流ですが、当社は自社製造浄化剤を用いたバイオ浄化（土壌微生物を活性化し汚染を分解）を含む「原位置浄化」を得意としています。土を掘らずその場で浄化するため、工場操業中でも実施可能です。掘削除去に比べコストは半分以上、多量の土の運搬や重機が不要なためCO₂排出量も1/10程度に抑えられます。こうした技術が認められ、環境大臣賞の受賞もしました。

製造業が盛んな中部では原位置浄化のニーズが高く、大手から中小まで広く実績がありますが、特に当社のコア技術であるバイオ浄化に関心を持つ方が多いです。結果だけでなくプロセスも重視されるのは、ものづくり精神が息づくからでしょう。中部のものづくりを支えるため、今後も目的や予算、期間に応じ最適なソリューションを提案していきます。期待に応えるのではなく、期待を超えるエコサイクルであり続けます。